

令和4年度 学校評価 報告書

報告日
令和5年3月17日

幼稚園名	芦屋市立小槌幼稚園
園長名	池田 睦美

1 今年度の重点目標

- 心豊かに感じ、共に育ち合う幼児を育むための教育の推進
- 幼稚園や地域の特性を生かした保育内容の実施
- 子育て支援の充実

2 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

- ・教育評価に関する保護者アンケートを実施、集約し、保護者に周知した。
- ・重点目標に対しての取り組みは適切になされている。

3 学校自己評価結果

(A:十分達成している B:達成している C:概ね達成している D:達成していない)

No.	分野	重点	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策	4 評価項目に係る学校関係者評価 学校自己評価結果及び改善方策についての評価
1	教育過程	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育目標である「心も体もたくましい幼児の育成」に向けて、身近な生き物や草花とのかかわり等自然をして感じたり考えたりし、5感を通して感動体験ができる保育を1年を通して推進した。10月と11月には、講師の先生をお招きし、公開園内研究会を実施した。市内のこども園、民間の保育所等からも参観されセンター的役割を果たし、幼児の学びや育ちを捉えることができた。 ・地域との交流では、だんじりを見せていただいたり、打出天神社のとんどに参加したりし、地域をつなぐ役割が果たせるように努めた。また、英語であそぼうや自然とあそぼう、野菜の栽培、鍵盤ハーモニカの指導、リトミック遊び等、教育ボランティアの方にお越しいただいた。幼児が人と関わるのが好きになり、いろいろなことに興味や関心がもてるように努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も一人一人の幼児の内面理解を様々な角度から捉えていくように努め、共に育ち合う幼児の育成につながるような環境作りや教師の援助を探り、研究を深めていきたい。 ・様々な人と関わる中で、地域により親しみを感じ、興味や関心をもち関わっていくことができるように、教育活動を工夫していきたい。また、継続して行えるように、計画をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月に実施した「教育評価アンケート」でも園の教育活動への高い評価を得ており、保護者の幼稚園への信頼が伺える。 ・地域に根差した幼稚園として、他の就学前施設と差別化、体験活動の充実などの価値付けを行ったカリキュラムを工夫されている。より特色ある園づくりを続けてほしい。
2	園運営	2	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の園庭解放では、地域の未就園児が園で遊び保護者同士や園とのつながりが持てるように努めた。また、教育ボランティアのコンサートや白浜アドベンチャーワールドが実施しているリモート教育、木育活動等、園の行事に参加できるように機会をもつことで、園との連携につながった。 ・年間を通して、毎日のブログや園だより、写真の掲示等を通し、幼稚園教育の内容の発信に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の未就園児とその保護者が幼稚園を身近に感じ、親しみが持てるように、園の行事と重ね参加を呼び掛けるなど、発信をしていく。 ・幼稚園教育を分かりやすく発信する工夫をし、園と家庭とが連携がとれるように努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で実施しているイベントを幼稚園内に掲示することは有効である。今後も地域での行事に興味をもって参加できるような内容を、考えていきたい。 ・今後も園の様子を広くPRすると同時に、3歳児保育の実現に向けて、手立てや働きかけが大切である。

5 総合的な学校関係者評価

・保護者の教育評価は具体的に丁寧を実施されており、園における教育活動の取り組みは良好である。今後も、家庭や地域との連携を大切にしながら、教育活動や内容を考え、工夫していくことを期待する。